

カトリック精神に貫かれた教育方針のもと、子どもの成長にあったモンテッソーリ教育（お仕事の時間）が提供できていると思います。しかしながら、モンテッソーリ教育を教師がどの程度理解し、行っているか外部からは解らない面もあります。また、モンテッソーリ教師の資格取得についても望みます。

全教職員の方々は常に園児一人ひとりの成長に目を向け、子どもたちが健康で安全に過ごせるよう環境整備を行っておられます。特に、温水器や空気清浄機などを設置し、園児の衛生面の指導にも力を入れています。

日常は、メールは配信やホームページで、子どもの様子、お知らせ等が速やかに行われ、満足しています。また保護者に対してもとても丁寧な態度で接して下さる。

勤労感謝の施設訪問やディサービスセンターの訪問などを行い、地域社会とのつながりを大切にされています。

子ども達のために環境や設備を整え、まだ向上させようとがんばっておられます。広い園庭で子どもたちが思い切り体を動かし、自然とふれあい過ごせることを大切にしてこれからも保育にあたってほしいと願っております。

- ◎ 園の教育理念や方針を理解し、保育計画のもと子どもたちの実態にあわせて環境を整え、保育を行っている。また、保育活動や指導がマンネリにならないように、教職員が常に話し合い、環境を整えている。
- ◎ 常に子どもたちの事故防止に努め、子どもたち自身が危険を察知し回避できるように指導を続けている。
- ◎ 教師としての資質や知識を向上させるため、園内外における研修会に参加し、お互いに学んだことを共有し、日々の保育に生かしている。
- ◎ 保護者への対応、相談などにも丁寧にかかわり、教職員が協力し、支援できるように努めている。
- ◎ 今後の課題としてあげられること
 - ・クラスや担任が変わらないため、各クラスの考えが偏寄らないように、お互いのクラスを行き来し、お互いの保育について考える機会を持つ。
 - ・地域との関わり、自然環境との関わりがまだまだ不十分なので、保育計画に取り入れ関わりを持つよう努力する、
 - ・会議や研修等で自分の意見を発言することに、まだまだ自信が持てない者がいる。できるだけ、発言できるよう場を作っていきたい。

園長コメント

今日の社会情勢のめまぐるしい変化の中でも、キリスト教に根ざした保育を変わずに行っていきたいと考える。教職員は常に、積極的に学び、話し合い、プランを作り、各自が努力して保育にあたっているが、自己評価したように保育がマンネリ化しないように共に努力したいと思います。

また、本園の特色であるモンテッソーリ教育を充実させるべく、今年度は園内外の研修に力を入れ、各自の技量を高めたいと考えている。